

2年 音楽 シラバス

1 音楽科の目標

曲想と音楽の構造などとの関わりおよび音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作を身に付けるようにする。

音楽表現を創意工夫することや、音楽を自分なりに評価しながら美しさを味わって聴くことができるようにする。主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに音楽によって生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

2 教科における重点目標等

音や音楽を「知覚・感受」し、「音楽的なものの見方・考え方」を働かせて、「思考・判断」し、「表現・鑑賞」できるようにします。また、グループでの話し合いや教えあい活動を通して考え方を深め、技術の向上を図ります。

3 学力を向上させる方法

表現したい思いや意図に近いものを選ばせて、表現活動に生かします。

授業の初めにアルトリコーダーの練習を行い、演奏表現するための基礎力をつけます。

4 評価の観点

評価の観点	観点の内容	評価の方法
知識・技能	<p>曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。</p> <p>創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。</p>	<p>プリントへの記入内容や授業時の発言内容、定期試験、実技試験</p>
思考・判断・表現	<p>音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて思いや意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。</p>	<p>プリントへの記入内容や授業時の発言内容、定期試験、実技試験</p>
主体的に学習に取り組む態度	<p>音や音楽、音楽文化に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p>	<p>授業に臨む態度（持ち物が揃っている、活動の様子）や取り組みカードや楽譜、プリントへの記入内容、定期試験、実技試験</p>

5 家庭学習の仕方

- (1) 教科書やプリントを良く読もう。
- (2) 授業で先生が話したことや学んだことはメモを取り、復習しておこう。
- (3) アルトリコーダーや歌唱曲は可能な限り曲を聴き、演奏に活かそう。
- (4) 鑑賞曲については可能な限り、自分で調べてみよう。

6 年間学習予定

学期	単元名	学習のポイント
1 学期	<ul style="list-style-type: none"> ○曲想を生かして、表現を工夫しよう（夢の世界を、4時間）*表現についてグループで話し合う活動あり。 ○仲間と共に、表情豊かに合唱しよう（合唱コンクール各クラス曲、4時間） ○声部の重なりを理解して、豊かな響きを味わおう（フーガ ト短調、2時間） ○曲想や全体の響きを感じ取って、表現を工夫しよう（アルトリコーダーの演奏の仕方、カノン1他、毎回15分ずつ実施） 	<ul style="list-style-type: none"> ☆表現（歌唱、器楽）の学習では、授業中に話した演奏するポイントを踏まえて良く音を聴き、たくさん練習してみよう。 ☆鑑賞の学習では、音楽の特徴（音色、リズム、速度・・・など）をたくさん感じ取ろう。そしてそこからどんな感じがするか（暗い音色やゆったりとしたリズムから怖い感じがする・・・など）言葉にしてみよう。
2 学期	<ul style="list-style-type: none"> ○仲間と共に、表情豊かに合唱しよう（合唱コンクール各クラス曲他、6時間）*表現についてグループで話し合う活動あり。 ○曲想や全体の響きを感じ取って、表現を工夫しよう（ラヴァースコンチェルト他、合唱コンクール以降毎回15分ずつ実施） ○曲の構成を理解して、曲想を味わおう（交響曲第5番ハ短調他、3時間） ○言葉の抑揚を生かして創作表現を工夫しよう。（3時間） 	<ul style="list-style-type: none"> ☆クラス発表する曲についてたくさん知ろう。指揮者や伴奏者、パートリーダー、音楽の先生や担任の先生とも良く意見交換をして聴いてくれる人に伝わる演奏をしよう。 ☆曲の構成からどんな感じがするか言葉にしてみよう。 ☆言葉の抑揚を意識してそれら生かして創作してみよう。
3 学期	<ul style="list-style-type: none"> ○曲想や全体の響きを感じ取って表現を工夫しよう（ふるさと他、毎回15分ずつ実施） ○表情豊かに合唱しよう（サンタルチア他、5時間）*表現についてグループで考える時間あり。 ○日本の郷土芸能や長唄、歌舞伎の特徴を理解して、その魅力を味わおう。（「勸進帳」他、3時間） 	<ul style="list-style-type: none"> ☆3学期は日本に昔から伝わる音楽を中心に学びます。授業中に学んだことを中心に、自分でも調べていろいろな音楽に接してみよう。